



自治労音協通信

第75号
2012年5月9日発行

発行責任者 会長 磯野 友一
編集責任者 事務局次長 小川 典子

第45回はたらくものの音楽祭in栃木小山

(通算25回)

第4回自治労音協コンサート 小山市立文化センター小ホール

みなさんこんにちは。事務局長を仰せつかつて、茨城の桃井です。
昨年の高松祭典：残念ながら参加できませんでしたでしたが、とても盛り上がったと聞いております。

今年の小山祭典こそはと思っておりましたが、残念ながら今回も諸事情により音楽祭当日は茨城にいてはならないのです(涙)。その分、何とか音協コンサートにはエントリーし、ほんの少しでも音協のみなさんと楽しい時間を過ごしたいと考えております。と、いうことで、地元栃木の仲間たちの協力により、今年も音協コンサートを開催する運びとなりました。

詳細は次のとおりとなっています。

■第4回自治労音協協会 コンサート

◆日時 2012年6月8日(金) 18時開場

18時30分開演、21時終演

◆会場 小山市立文化センター小ホール
住所 〒323-0023

栃木県小山市中央町1-1-1

TEL 0285-229-5522

FAX 0285-24-3021

◆バ切 出演希望者は、5月25日(金)までに
申し込んでください。

自治労音協 発表曲

「星めぐりの歌」

宮澤賢治 詩・曲 林光 編曲

★選曲の理由

1. 作者の宮澤賢治が東日本大震災で被災した岩手県出身
2. 星になったであろう亡くなった方をなぐさめたい
3. 編曲の林光さんの追悼のため

★楽譜・音源は細川さんまで連絡してください。
Gundor@shirt.ocn.ne.jp

★申込先：自治労音協事務局長 桃井雅和あて

電子メール：momoi@olive.ocn.ne.jp

自宅住所：〒311-3125

茨城県東茨城郡茨城町下石崎565

負担金：出演単位につき3000円

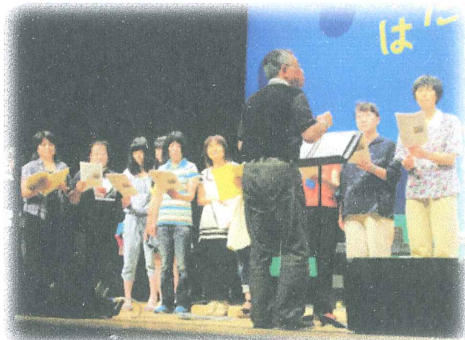
(施設利用料等の分担です)

それでは、ご応募お待ちしております！

※CD音源は随時募集しています。

お気軽にお送りください！

第44回はたらくものの音楽祭IN高松



第44回はたらくものの音楽祭合唱

♪ 事務局から のお知らせ

みなさまからの投稿をお待ちしています！

E-Mail: jicogawa@jca.apc.org 住所変更は必ずお知らせください！

『自治労音教ホームページ』 <http://www.jca.apc.org/~jicogawa>

『自治労と音楽のページ』 <http://www33.ocn.ne.jp/~tmatsu>

『日本音楽協議会』 <http://www.yomogi.or.jp/~uncle>

音楽道

しつこくラオスのこと
5月26、27日、同じ代々木公園で「ラオスフェスティバル」

荒川区職労 白石 孝

ラオスのお正月は4月。もちろん旧正月ではなく、お釈迦様の花祭りでもない。4月13日から15日が新年で、タイ、カンボジア、ビルマ（ミャンマー）なども同様。日本では通称「水かけ祭り」とも呼ばれている。

1990年頃から10年ほど、東京でも「タイ正月まつり・ソングライン」を私たちタイ好きの有志が実行委員会を作って開催したことがある。

タイ国留学生協会とも連携していたので、お坊様やタイ大使館からの協力も得て開催した。

文京区の「駒込大観音」で有名な光源寺が第1回で、その後聖学院高校、中野坂上慈眼寺、目黒区伝道公園、都立葛西工業高校と会場を移しながら、多い時には4千人もの来場者がある名物イベントだった。

タイのお坊様による、新年の儀式、タイ舞踊、タイ音楽、タイ料理屋台、タイボクシング、NGO紹介など、タイに関する様々な企画が盛り込まれ、日タイ友好親善祭りに貢献した。新宿東長寺「アジア系イベントのはしりを形創ったと言える。

ところが、2000年代に入ると急速にタイ観光がブームとなりタイ料理店も急増、タイはメジャ―へと一気に登りつめていく。

それに伴い、市民有志の手造りイベントは、タイ関連業界に乗っ取られ、商業ベースへと大きく転換していった。私たちの出番はなくなったのだ。

今年の「タイ フェスティバル」は、東京代々木公園が5月12、13日で、それ以外にも埼玉越谷（4月22、30日、イオンレイクタウン）、大阪（5月19、20日、大阪城公園）、名古屋（5月26、27日、久屋大通公園）、鎌倉（7月1日、8月31日、由比ガ浜海岸）と、まさにタイだらけ。

こうなると、タイの民主化だとか貧困だとかを知り、考えるといったイベントではなく、ひたすら売り・買い、作り・食べる、歌う・観るという関係に終始し、お金の流れが大きく支配されるようになる。タイ観光に出かける観光客も、タイの国や人びとを知ろうというものではない。

一方、5月26、27日、同じ代々木公園で、「ラオスフェスティバル」が2年ぶりに開催される。主催は「東京国際学園高等学校」という一私立高校だ。

ラオス人民民主共和国大使館も共催になっているが、実質はひとつの学校法人による主催でこれが大きな特徴だ。

この高校は、不登校の子どもたちなどが多く通い、通信教育もしている。そこがラオスに学校を贈るボランティア活動に取り組み、その延長線上での開催だ。

主催者スタッフには、学園の教員が配置され、高校生たちもスタッフとして走り回っている。明らかに商業化されたタイフェスとは違っている。それでも料理屋台が20店、物販が30店も出て、天気がいければ二日間でも数万人が集う。

タイと比べ、ラオスへの企業進出や観光客は桁違いで少ないから、イベントの規模や内容も大きく異なるのは当然だが、ラオスフェスの方により親しみが持てる。

今回はじめて、NGOとして小さなスペースを借り、展示やチラシなどを配布して、私たちのボランティア活動を紹介、ラオス関係のネットワークを広げるつもりだ。

反貧困イベントと憲法
フォーカスジャンボリー

この通信が出た段階では終わっているイベントだけではつまらないので、発行以降のイベントを紹介しておこう。

前記したタイ正月祭りを一緒に担ってきた都高教の役員たちとのコラボで、この数年「教育の貧困」を問うイベントを主催している。

また、東京労音のスタッフやアマチュアミュージシャンなどで構成する「憲法フォーカスジャンボリー in 東京実行委員会」が主催する「憲法フォーカスジャンボリー」が、今年は8月3日（金）5日（日）に、新大久保の東京労音R'sアートコートで開催される。

寿や普天間かおりなどのプロとシロウトミュージシャンや表現者が一人（組）10分の持ち時間で次々とステージに立ち、憲法や平和を表現するイベントだ。

本紙の読者にもぜひ出演を呼びかけたいが、今年の出演エントリーはすでに締め切っている。来年チャレンジャーしてほしい。1日券千円、通し券1,800円。

おまけ
私、本を出しました

「音楽、芸能」分野とは異なるが、私は「国民総背番号制」反対運動を30年来進めている。

今の通常国会に「マイナンバー」という奇妙なネーミングの「共通番号」法案が提出され、審議に入っている（もし可決したら、この通信発行段階では可決されているかもしれない）。

それに関して、元朝日新聞記者との共著で、『共通番号なんていない！』を刊行した。ぜひ、お買い求めください。（航思社、1,400円＋税）

もうひとつおまけ。特定非営利活動法人官製ワーキングプア研究会を設立し、理事長に就任したので、ご覧ください。

また、『官製ワーキングプア研究会レポート』も発行しているので、購読をお願いします。

【編著】日本弁護士連合会

四六判／並製／176頁／本体1400円＋税

【発行】航思社

個人情報に安全神話は通じない。

個人識別システムは社会保障も民主主義も切り崩す！

社会的害悪しかもたらさないこの制度の内容と意味をわかりやすく解説しながら、「国民総背番号制」からの過去40年の歴史をひもとく、政府・企業の真のねらいを白日のもとにさらして検証、徹底的に批判します。

●お問い合わせは、白石まで。03-3806-6308 jp



私のギター人生 パート13

ギターに魅せられて

自治労東京OB

狭石 利美(東京)

◆書きながら考える

前回はラグリマの記念すべきファーストコンサートについて書いた。次は何をどう書くかと思っているところへ、小川編集長から原稿依頼が来た。義父が入院し、その看病で毎日病院に詰めていることもあり、すっぱかしているなら「大至急お願いします」との矢の催促。

ついでに「最近の活動についても載せてください」と新たな注文がついた。昔話ばかり書いて済まず訳にはいかなかった。かと言って、最近の活動をとると単なる「報告記事」になってしまう。これは一体全体どうしようかと書き始めながら今考えている(誰か教えてくださ

◆突然増えた出演

最近の活動といえば、圧倒的に脱原発行動における演奏が多い。昨年9月の6万人集会(明治公園)に始まり、11月25日「国民投票法反対集会」(文京区民センター)、二日後の27日には「反原発コンサート」(上野水上音楽堂) 12月10日都支部コンサート、今年になって

2・11集会(代々木公園小音楽堂)、3・11福島集会(開成山球場) 3・18「希望の春風コンサート」(上野水上音楽堂) 3・24「1千万人アクション集約集会」(日比谷野外音楽堂)、この間に毎月亀戸駅頭署名活動があり、3月3日にはツープイスで歌いながら署名を

◆ソロで歌う

歌っていると、署名を集めている仲間たちもなんとなく明るい雰囲気になってくるのが分かる。「ツープイス」とは「啓子と利美」のことで、名付け親は小川編集長である。ピースは「平和」の意味とジグソーパズルのピースの両方の意味をふくんでいるらしい。結構便利なのでいつも使わせてもらっている。

昨年11月27日の「核と基地に反対するコンサート」(上野水上音楽堂)にツープイスで出演したのだが、その中で小島力さんの「望郷」をソロでギター弾き語りで歌った。それまで合唱やメイウインズで歌ってきたが、ソロで歌うという経験はカラオケぐらいしかなかった。歌ってみるとこれが結構評判が良く、気をよくしてその後何度かいろんな場所で歌っている。弾き語りの良いところは、自分の好きなテンポで好きなように歌えるところだ。

集めた。アジだけだとさつさと通り過ぎる人も、ギターを弾き歌っているとけっこう足を止めて聴いていく。その隙に他の人が署名をお願いするといわ

8月6日にも毎年亀戸駅でI女性会議、憲法を生かす会、東京大空襲訴訟団が共同して街宣をしているが、そこでもツープイスで歌っている。

いつも伴奏している啓子さんに時々言われるのだが、伴奏だけしている時と自分が歌いながら伴奏している時とは、ぜんぜんギターの弾き方が違う。うだ。どう違うかと言うと、自分で歌いながら弾いている時の方がギターに気持ちが籠って

いるらしい。歌と伴奏が一体になつていて、歌と伴奏がどこかで両者が別々になつていて、その違いのなるう

◆ギター伴奏の便利さと困難性

ギターはたった一本(一人)でメロディ・リズム・ハーモニーが表現できる。持ち運びも手軽だ。人間の声にも見事にマッチしている。自分ひとりで弾き語りが出る。

音楽をする上で、こんな重宝な楽器は他にないのではな

伴奏の弾き方だけでなくイントロや間奏、エンディングも考えなければいけない。歌い手にはほとんどの場合伴奏者が考え歌える(つまり「乗れる」)伴奏をするためには、かなりの技量が要求される。

バンドの一員の場合は比較的楽だが、ギター一本の場合はこれら作業がかなりつらいものがある。ツープイスの場合はいつもギター一本だけなので、この作業はいつも「省力化」されることになる。出演が早くから分かっていても演奏する曲が決まるのがいつも遅く、早い時で一週間前、酷い時は数日前という事情がそれに輪をかける。合わせる時間がなかなかないこともあり、「まあこんなところでしょうがないか」というあたりでお互いに妥協して本番を迎えることになる。



3・18「希望の春風コンサート」(上野水上音楽堂)でギターを弾く狭石利美さん



3・18「希望の春風コンサート」(上野水上音楽堂)で歌う日音協の仲間たち



びわこJAZZフェスで演奏するダンナイズのメンバー

4月14日、15日に行われた『びわこJAZZフェスティバル in 東近江』は、今年で4回目の開催となり、滋賀支部のメンバーで結成している「だんないず」で3度目の出演をしました。

「だんないず」にとつては初の野外ステージで、とにかく雨が降らないか、お客さんは聴いてくれるか心配でした。

このジャズフェスティバルは、東近江市の活性化を願って、地元

の若者たちを中心に構成された実行委員会が運営されています。わがバンドの大國さんもボランティアとして参加し、イベントを盛り上げてくれました。また、「だんないず」結成当初のドラムのカンバックもあつて、TSQUAREやカシオペアなどのフュージョン曲が中心に、自治労滋賀県本部のテーマソング『未来へのかけ橋』と猪苗代湖ズの歌を発表することになりました。

しかし、結構難しい曲にもチャレンジしたので、今までしたことのないようなスタジオ練習に悪戦苦闘しながら、ようやく当日を迎えました。前日まで強い風雨が吹いていたのですが、日ごろの行いが良いのか雨があがり、「良かった」と思っていました。しかし

風は止まず、まるで、春の嵐。のような風が吹きあられ、譜面台から楽譜が飛び、わたしの演奏もぶつ飛び、完全にバンドのメンバーに迷惑をかける演奏となつてしまいました。この場を借りて、お詫び申し上げます「すみませんでした」

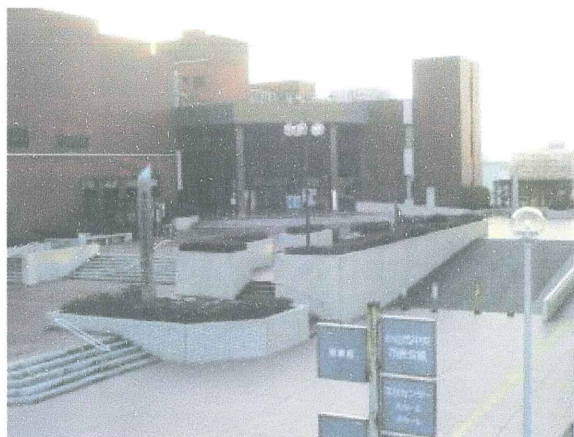
その後、大反省だったことは言うまでもないですが、改めて自分の未熟さを痛感し、自分を見つめ直す。音楽の修行。に出ようと決心しています。成長できるのかなあ？(泣)

来年度の「はたらくものの音楽祭」は滋賀の地で開催が予定されています。今から当日のスタッフなどを集めていかなければいけません。この滋賀支部のメンバーの結束を固め、そして中心メンバーとなつて成功に導いていかなければいけないと思っています。

そのようなイベントの経験のない私たちなので、どうか音協会員の皆様も私たちを助けてください。よろしくお願いします！

自治労音楽協議会総会および練習について

コンサート終了後、懇親会会場で簡単に行います。また、音楽祭当日の午前中に、合唱の練習を行います。練習会場は、音楽祭会場内を予定しています。皆様の御参加をお願いします。



小山市文化センター

〒323-0023 栃木県小山市中央町1-1-1
TEL: 0285-22-9552
<http://www.oyama-bunkacenter.jp/>